

平成 25 年度 第 1 回 文化財保護委員会会議録

■日時：平成 25 年 6 月 26 日（水）午後 7 時から午後 8 時 30 分

■場所：郷土資料館会議室兼資料取扱室

出席者：島村圭一委員長、中村誠二副委員長、新井浩文委員、長谷川清一委員、岩上孔昭委員、北村俊行委員

吉羽秀男教育長、青木秀雄館長、河井伸一主査、横内美穂主任

会議次第

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 平成 25 年度事業計画について

① 文化財保護委員会事業計画について

② 郷土資料館の事業概要について

(2)文化財の指定について

(3)その他

会議概要

○あいさつ（教育長）

○事業計画について報告

○文化財指定の検討

会議録

あいさつ（吉羽教育長、島村委員長）

島村委員長 それでは議事に移らせてもらいます。平成 24 年度事業計画の内、文化財保護委員会の事業計画について事務局お願いいたします。

青木館長 文化財保護委員会の事業計画は年 3 回となっています。2 回目は例年視察や調査が多いですので、今年度もそのように考えています。

島村委員長 それでは、文化財保護委員会の事業計画について何か質問はありますか。2 回目は現地調査ということで本日の審議の中で現地調査の場所も検討していただければと思います。それでは事務局案で宜しいですか。

一 同 了承。

島村委員長 次に、平成 25 年度郷土資料館の事業計画について、事務局説明お願いいたします。

青木館長 それでは、文化財保護事業、埋蔵文化財発掘調査事業、埋蔵文化財発掘調査受託事業、資料館管理運営事業の順で説明させていただきます。

(平成 20 年度道仏北遺跡の発掘調査報告書の刊行、特別展西光院の歴史と文化財、企画展江戸時代の須賀、体験学習教室、歴史ウォーク、企画展写真で見る宮代の庚申塔、企画展身のまわりの生活史、文化財案内板設置を中心に説明する。)

- 島村委員長 ここまでで質問があればお願いします。
- 岩上委員 埋蔵文化財の関係ですが姫宮神社の周りは発掘調査を行ったのですか。
- 河井主査 今後、試掘調査、発掘調査を行う予定です。しかし、農地転用をまだ行っていない状況ですので、相当先になるかと思えます。山林部分に関してはもう少し早く書類が出てくるかと思えます。
- 島村委員長 あそこは古墳ですよ。遺跡が出てきますよね。
- 河井主査 出ると思えますよ。もう少し離れた箇所からも埴輪片が出てきましたから。但し、今回の開発は個人住宅ですので、杭を打たない場合は浄化槽のみになりますので、大きな調査を行わない可能性があります。
- 岩上委員 担当の課はどこですか。
- 河井主査 開発行為は都市計画、農地転用は農政、埋蔵文化財は資料館となりまして、お互いは合議等で情報交換をしています。
- 新井委員 開発する業者は遺跡調査について理解しているのですか。
- 河井主査 協力的ですよ。
- 長谷川委員 表土から遺構確認面までは深いのですか。
- 河井主査 以前の試掘調査は南側の斜地でしたので深かったのですが、今回は試掘を試みないと分かりませんね。今回の場所は範囲が広く斜めなので切り土を行う可能性があります。切土を行う場合は全面発掘なので、開発計画や試掘調査でよく確認して行きたいと思えます。
- 島村委員長 この他に発掘調査の予定はありますか。
- 河井主査 この間、トクホン工場で試掘調査を行いました。全く土器が出ませんでした。鍛冶工房が出た調査区の隣接する南側でしたので、多少は土器が出ると思いましたが、土器は1点も出ませんでした。
- 青木館長 鍛冶工房を掘ったときも調査区の北側はたくさん遺構が出ましたが、調査区南側は土坑が1基しか出ませんでした。
- 島村委員長 それでは、その場所は遺跡ではないということですか。
- 河井主査 遺跡ではないということですね。遺跡の変更届けを県に提出しました。この他には9月頃に2件の個人住宅の試掘調査を把握している状況です。
- 島村委員長 どこですか。
- 河井主査 星谷遺跡と中東遺跡です。
- 島村委員長 他にどこにありますか。
- 長谷川委員 文化財案内板は今年はどこに建ててるのですか。

青木館長 今、検討中ですが、担当としては百間小学校に建てたいと思っています。
島村委員長 何基目になるのですか。
青木館長 25基位かと思います。
河井主査 今年と昨年に建てた文化財案内板は、ふるさと納税の歴史や文化財部門への寄付金や展示図録や町史、斎藤甲馬町長の本などの刊行物を買って頂いたお金のみで建てていますので、所謂、税金は入っていません。

島村委員長 百間小学校だとどのような内容になりますか。
青木館長 百間小学校の沿革は勿論、水害予備船のことなどを書きたいと思っています。

長谷川委員 ちなみにですけど、昨年文化財案内板を造った業者は町内業者ですか。
青木館長 いいえ、都内の業者です。
島村委員長 町内業者では厳しいですかね。
青木館長 表面のコーティングとかの関係で、文字が薄くならないようにするにはいけませんから。宮代町は平成8年に文化財案内板を西方院に最初に建てたのですが、今でも非常に良い状態です。

新井委員 西光院の展示は西光院から借りる他に、他の施設からは借りないのですか。講座も考えているのですか。
青木館長 今回は西光院のみと考えています。西光院だけでも展示ケースがいっぱいな状況です。講座は西光院の本を書かれている新井委員にお願いしたいと思います。笈岳の経筒は写真パネルで対応したいと思います。

島村委員長 阿弥陀如来像はレプリカで対応とのことですが、前回、阿弥陀三尊像が戻ってきたのは何時でしたか。
青木館長 平成5年です。
島村委員長 20年前ですか。その前は40年前でした。何十年かに1度は戻ってきてもらいたいですね。

青木館長 家康画像や粟田焼きの茶碗は恐らく寛永期位まで遡ると思われます。
島村委員長 西光院のことが全て分かる良い図録を作って頂きたいと思います。窓口は副住職さんですか。
青木館長 住職さん、副住職さん、お孫さんの3名です。7月中には写真撮影を終わらせて、図録の執筆作業に入りたいと思います。

島村委員長 その他に企画展等で何かありますか。昭和63年の地藏院遺跡の整理はどのような状況ですか。
青木館長 現在、実測作業を行っています。中々量がありまして。作業員さんたちも実測作業の腕を上げてきまして、順調に進んでいます。

長谷川委員 青木さんが残した調査で最も大きいものですか。
青木館長 そうですね。最近の調査を抜かすと最も大きい調査です。

島村委員長
河井主査 企画展の江戸時代の須賀は須賀村の須賀ですか。
昔、江戸時代の東条原という展示をしたかと思いますが、その続編という
ことで、古文書を中心とした展示を考えています。須賀は昭和30年ま
であった須賀村ではなくて、江戸時代の須賀村、大字須賀が対象です。

島村委員長
河井主査 山崎展とか西原展とかの展示の続きみたいなものですか。
青木さんが行った宮代紀行の展示はトータル的な展示ですが、今回の展示
は古文書が中心となります。東条原の第2弾的な展示です。

島村委員長 それでは、事業計画についてはこの辺で宜しいですか。次に文化財の指定
について話を進ませたいと思います。前回の会議では多少庵関係に絞って
審議しようと言うことになっていましたが、事務局お願いいたします。

青木館長 本日お配りさせて頂いた資料は俳額関係と句碑関係を纏めたものです。俳
額は姫宮神社4点、内江戸時代のもの1点、五社神社、青蓮院に1点づつ
です。句碑関係ですが句碑が2点、関連資料の華塚、華墳、墓石等7点で
す。その他の句集とかは文書と一括になってしまうので抜きました。句碑
は実際1基みたいなものですね。

島村委員長
新井委員 今回決めると言うものではありませんので、意見を言ってもらえれば。
昔、多少庵の展示を行いましたよね。展示以降に新たな発見等はないので
すか。

横内主任
島村委員長 短冊が新たに見つかったのですが、現在、所在不明となっています。
地域の文化財としての多少庵関係資料ですので指定文化財としては円空
仏以上に難しいと言えます。

岩上委員 このような多少庵があったというのは百間の文化の高さが分かります。す
ごく大事で重要だと思います。そして、句碑や俳額全てが重要であると思
います。ちなみに杉戸にはこのような俳諧結社はあったのでしょうか。

横内主任
河井主査 多少庵第6世の戸賀崎琴松や第7世の野口雪蓑は杉戸町の人です。
杉戸も宮代も同じ俳句のエリアです。みんな多少庵に属していました。昨
年、杉戸宿の展示をしましたが、杉戸宿の名主の鈴木小左衛門や海老原市
左衛門は多少庵でも中心的の人物でした。

中村委員
河井主査 1点1点を指定していくのか、グループで指定するのかですね。
基本的には所蔵者別ですよ。今回の俳額や句碑だと1点1点に近いのか
なと思います。あと、どこで区切るかですね。一番古いのは良いかなと。
明治のものを入れて1点1点指定するのはどうかということですね。個人
的には。

島村委員長
河井主査 群の中に混じっていれば良いのですけど。
そうですね。群の中では目立たないけど、1点1点だと目立ちますからね。
江戸時代で区切るというのも良いかもしれませぬ。

横内主任 理由になるかは分かりませんが、天保年間に宮代が中心となって幕末まではその中心でいました。しかし、明治に入ると白岡や杉戸の人が庵主を務めますので、江戸時代末位までで良いのかなと思います。

島村委員長 指定されたものだけが価値があるというわけではなく、多少庵関係のものが指定されたということで、それ以外のものも重要と理解してもらえばよいと思います。

北村委員 リストに載っている句碑や俳額は全て多少庵関係ですか。

横内主任 基本的には多少庵関係です。多少庵の関係者が係わったものです。

島村委員長 指定文化財の指定の方法を変えてしまうと、自分の家のものも指定してくれと言ったことも出てくるかもしれません。

新井委員 感覚としては句碑で言えば2番、俳額で言えば5番といずれも五社神社のものが良いですね。句碑を見てみると側面に地域の広がり確認できますし、俳額では、町内の家の特定などが出来れば面白いと思います。

島村委員長 近世のもので言うと俳額の1番姫宮神社はどうですか。

河井主査 一番古いものです。状態は良いですね。ちなみに願主ときわは姫宮の人で先ほどの短冊の家です。ちなみにこの段階では多少庵は百間には来てなく江戸にあった時代の文化8年です。しかし、記載される名前はみんな百間や粕壁、杉戸、槇野地等の人たちばかりで江戸の人はいません。一番のトップの位置には江戸の二世日下部波静ではなく、百間の中野南枝が記されています。この2つが重要でしょうね。

長谷川委員 俳額等を1つでも指定すれば、他のものも重要と考えてくれるのではないのでしょうか。

新井委員 句碑の3・4番はどうですか。

青木館長 華塚とか華墳とか性格が句碑とは違いますからね。

中村委員 突然ですけど句碑の2番と俳額の5番は同じ五社神社で年代も近いのでセットになるようで面白いですね。石工は刻まれていますか。

青木館長 刻まれていません。

中村委員 書の方面からではどうですか。

青木館長 分からないですね。

島村委員長 それでは指定文化財のどの項目で指定したらよいか宿題として考えてきてください。次回、指定文化財候補を見ながら考えたいと思います。

河井主査 それでは、次回、現地での調査となりますが、五社神社と姫宮神社の2箇所の訪問ということでよいですか。皆さんの議論を聴いて五社神社の2つは決定に近いのかと。姫宮神社のものは実際見てみて、調査後には会議を行いますのでそこで議論をして頂き、3回目の会議でどの指定文化財候補の調書を作ればよいか検討して頂きたいかと思います。

島村委員長
青木館長
一 同
島村委員長
岩上委員
青木館長
島村委員長
河井主査
島村委員長
北村委員
横内主任
北村委員
河井主査
北村委員
横内主任
河井主査
横内主任

そういう方向でお願いいたします。

2回目の調査ですけど、昨年は12月23日でしたが、今年も12月23日で宜しいですか。

了承。

それでは、その他何かありますか。

百間小学校には何か重要なものがあると思います。

水害救助船が3艘残っています。今回、文化財案内板を造る予定なのでそのことも触れたいと思います。

折れた忠魂碑は破片の下はありましたか。

ないです。昭和62年度のプール建設で撤収したのでしょうか。分かりません。

折れた状態こそが歴史的な背景があって面白かったのですが。

この間、図書館で青木館長の講演を聞いたのですが、図書館と資料館の連携についてどのような状態ですか。宮代の図書館には近隣市町の町史等が余り置いていません。それは、資料館に置いてあるためですか。

館の方針で置かないようです。専門性のある書籍ではなく、一般書籍の充実が優先のようです。所蔵図書も多くなって来ていますので。専門性のある書籍を読みたい場合は、県内の図書館同士の相互貸借で対応しているようです。

例えば、図書館の窓口で資料館の本を取り寄せることはできますか。

それは出来ません。専門書が見たい場合は自分も良く使いますが、リクエストカードを書きますと県立の図書館や県内の市町村立図書館からも借りることが出来ます。そういうこともあって、宮代の図書館や他市町の図書館もそうですけど、他地域の郷土資料の本を集めないようになって来ています。

そのようなシステムがあるとしても、宮代の図書館と宮代の資料館の連携は出来ないのかなと思うのですが。

資料館で持っている書籍は研究資料なので一般教養書籍ではないので少し性格が違うのかなと思います。

そういう考え方はあるとは思いますが。ある市町村では資料館の図書を図書館のシステムの中に登録しておき、郷土資料のみ資料館において置き、郷土資料を借りたい人がいた時に取り寄せる自治体もあるようです。しかし、実際には宮代では資料館の書籍を図書館で登録していません。また、これから登録するにしても資料館が持っている書籍の量は膨大ですから。

研究者として資料館の書籍を読みたい人は館内利用申請書を出せば閲覧することは出来るし、コピーすることも出来ます。

新井委員 もっと踏み込んだ市町もあります。古文書の複写を図書館で閲覧している自治体もありますが、そこまで、利用があるのかということですね。登録するにしても複写するにしても費用に係るわけですし、現実に資料館に来れば見る事が出来るのですから。

島村委員長 図書館は昔に比べ性格が異なって来ていますね。ツタヤに全面委託している市もありますし。それでは、事務局にお返し致します。

青木館長 それでは、以上をもちまして、平成25年度第1回文化財保護委員会を終了させていただきます。